

汚染廃棄物仮置保管施設

Temporary Storage Facility for Radiation-contaminated Wastage CATALOG

技術カタログ

TYPE I

TYPE I-2

TYPE I-3

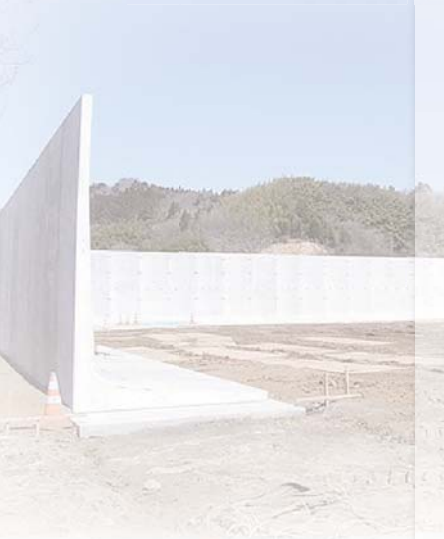


TYPE II


TYPE III



汚染廃棄物仮置保管施設研究会

Institute of temporary storage facility for radiation-contaminated wastage




 **汚染廃棄物
仮置保管施設研究会**

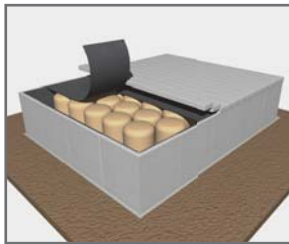
Institute of temporary storage facility for radiation-contaminated wastage

汚染廃棄物仮置保管施設研究会は、高い遮へい性能を持つコンクリートと遮水シートを用いた、安全・安心な保管施設を研究・提案すること目的に、平成23年10月27日に発足しました。

汚染廃棄物の量や汚染レベル、保管形態等に合わせて、さまざまなタイプの施設を開発しています。



目次



タイプⅠ U型保管施設

P.1

- プレキャストコンクリートL型擁壁と蓋パネルで、必要な容量の施設を素早く構築します。
- 廃棄物最終処分場で使用される高い遮水性能をもつシートを設置します。
- 既に暫定的に置いてある汚染廃棄物を、短期間で収納することができます。
- 蓋パネルを落とし込み式にすることで、地下に埋設することもできます。



タイプⅠ-2 U型保管施設 - 長期搬入タイプ

P.3

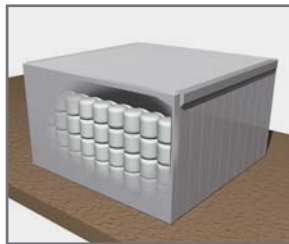
- 長期の搬入に対応するため、搬入部分は移動式のテントで覆い、搬入完了部には蓋パネルを設置し、テントを移動していきます。
- 廃棄物の搬入方法の自由度が高く、現地の状況に合わせた作業ができます。



タイプⅠ-3 U型保管施設 - 多重遮蔽タイプ

P.5

- プレキャストコンクリートL型擁壁と蓋パネルで構築した施設内に、「タイプⅢ」の移動式保管ボックスを配置することで、二重の遮へい効果を発揮します。
- 汚染度の高い廃棄物はボックスに封入した後、汚染度の低い廃棄物は土嚢袋のまま施設内に保管します。



タイプⅡ ボックス型保管施設

P.7

- 十分な部材厚の大型分割式プレキャストボックスカルバートに汚染廃棄物を収納します。
- 強度のあるボックス構造であるため、上部の有効利用ができます。
- 廃棄物最終処分場で使用される高い遮水性能をもつシートを設置します。
- 地下埋設にも対応できます。



タイプⅢ 移動式保管ボックス・回収ボックス・分割式回収ボックス

P.9

- 宅地の表土や除草などを、コミュニティ単位で仮置きできます。
- 廃棄物の放射線量に応じて、コンクリート厚さの異なる2つのサイズを揃えました。
- 大型土嚢袋が内部に設置可能なサイズなので、すでに仮置き等に利用されている大型土嚢袋をそのまま保管する事が可能です。
- 蓋部の特殊ジョイント構造や特殊吊り金具を採用し、蓋の設置や運搬作業を短時間で行うことができます。
- 蓋固定後は開封することなく運搬可能です。
- 人力で開閉可能な蓋を有する「回収ボックス」と、本体を分割式にする事で幅広い設置条件に対応する「分割式回収ボックス」もあります。



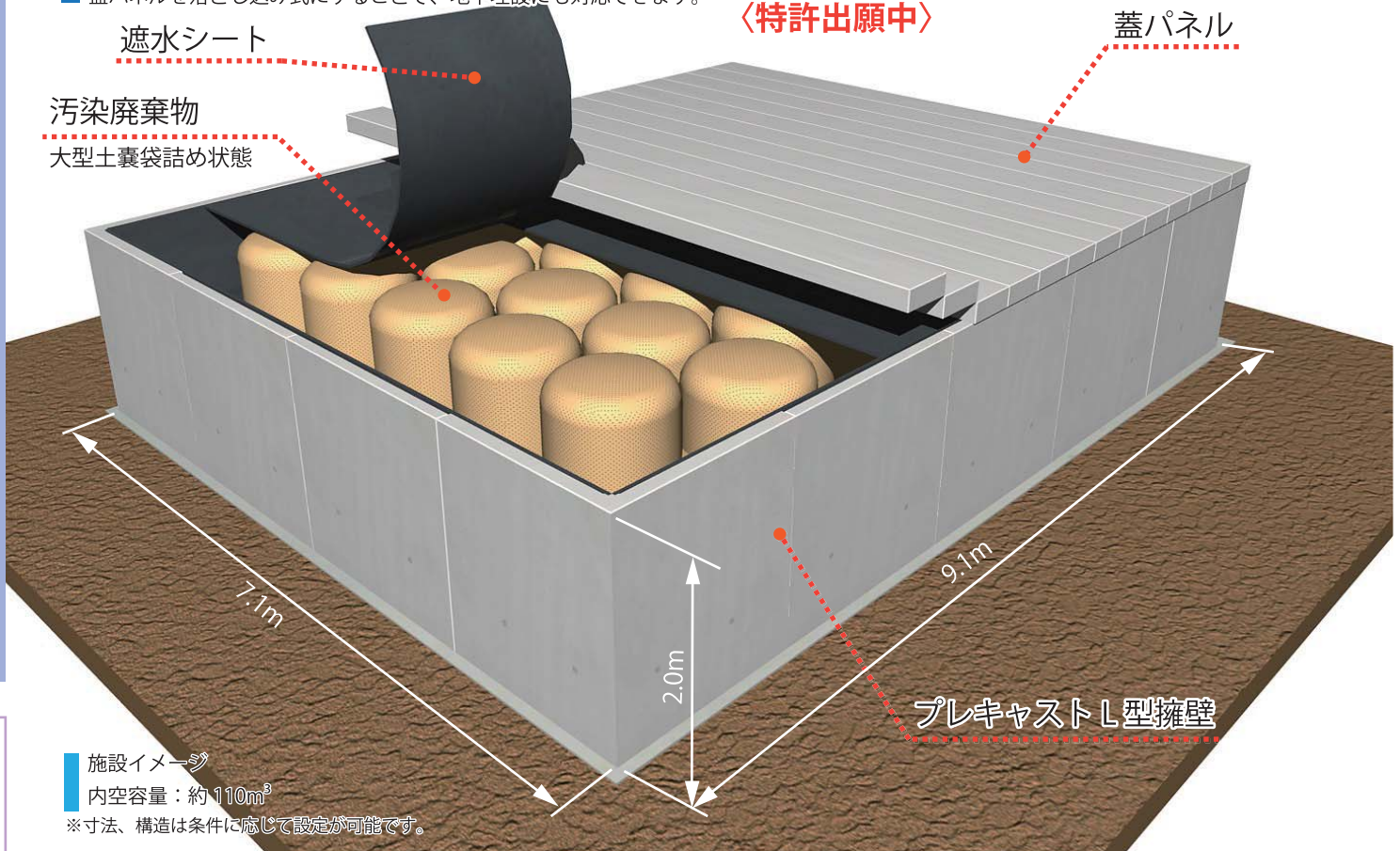
汚染廃棄物仮置保管施設 実績表

P.12

タイプⅠ U型保管施設

汎用L型擁壁を使用してローコストで素早い施設構築が可能です。

- L型のプレキャストコンクリート擁壁とコンクリート蓋パネルを組み合わせて、必要な容量の施設を素早く構築できます。
- 内部には廃棄物最終処分場で使用されている遮水シートを敷設することで、高い遮水性能を持たせて、雨水、地下水の浸入や、廃棄物から出る浸出水の流出を排除します。
- 既に暫定的に置いてある汚染廃棄物を、短期間で収納することができます。
- 蓋パネルを落とし込み式にすることで、地下埋設にも対応できます。

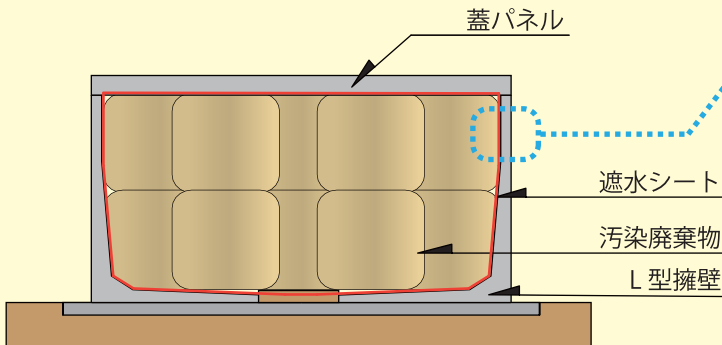


施設イメージ
 内容容量：約110m³
 ※寸法、構造は条件に応じて設定が可能です。

施設概要

プレキャストコンクリート製のL型擁壁と蓋パネル及び丈夫な遮水シートで、外部環境と汚染廃棄物を遮断する構造です。

■ 設置断面図



コンクリートによる低減効果

85% 低減
 放射線量

部材厚 12cm のコンクリートにより、放射線量を約 85% 低減します。

※「市町村による除染実施ガイドライン」(H23.8.26 原子力災害対策本部) の値から試算しています。
 ※現地空間線量率以下には低減しません。

12cm 厚

遮水シートによる遮水効果

遮水

雨水 地下水 浸出水

最終処分場で使用されている丈夫な遮水シートにより、高い遮水性能を確保します。

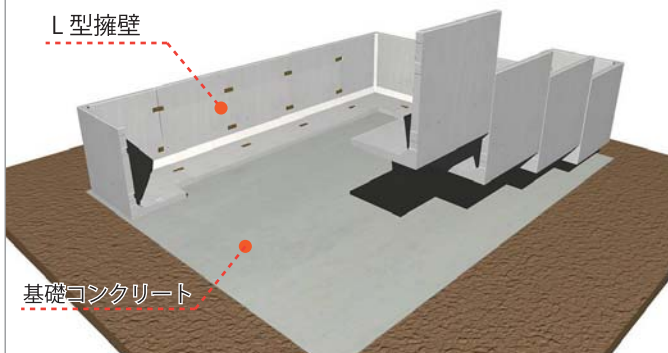
シート厚さ：1.5 mm 以上
 透水係数：1×10⁻⁹ cm/sec 相当以上

遮水シート

※形状・仕様は変更になる場合があります。

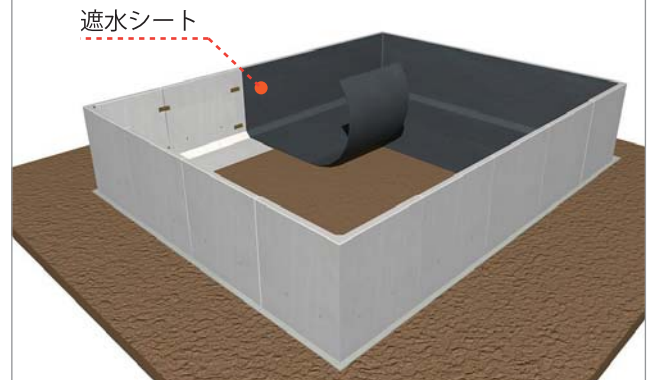
設置方法

1. 基礎工、L型擁壁の設置



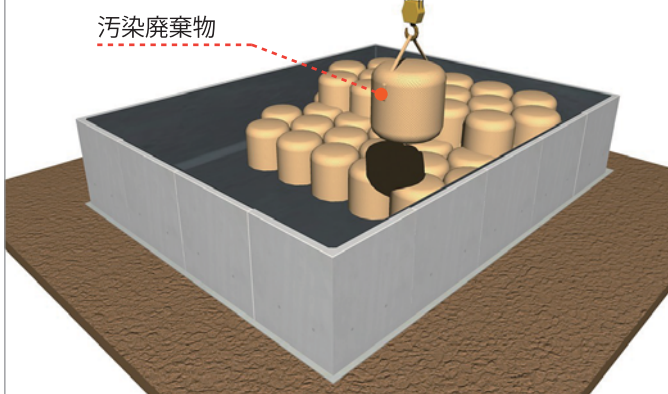
■ 基礎コンクリートの打設後、プレキャストL型擁壁を設置します。

2. 遮水シート工



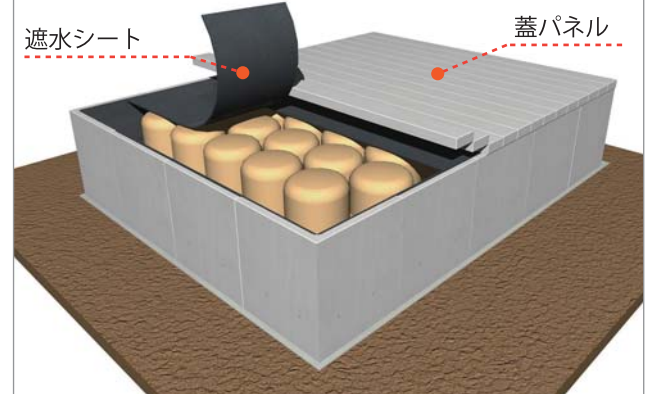
■ L型擁壁内面に遮水シートを設置します。

3. 汚染廃棄物の搬入



■ 施設内に汚染廃棄物を搬入します。

4. 遮水シート工、蓋パネルの設置

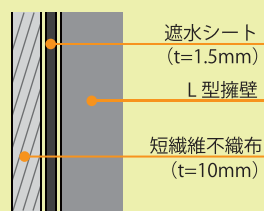


■ 上部にも遮水シートを施し、蓋パネルで完全にふさぐことで、施設設置完了です。

遮水方法

遮水シート構造

■ 側壁部



搬入作業や搬入する廃棄物等による遮水シートの損傷を抑制するため、短繊維不織布を設置します。

遮水シートの取付例

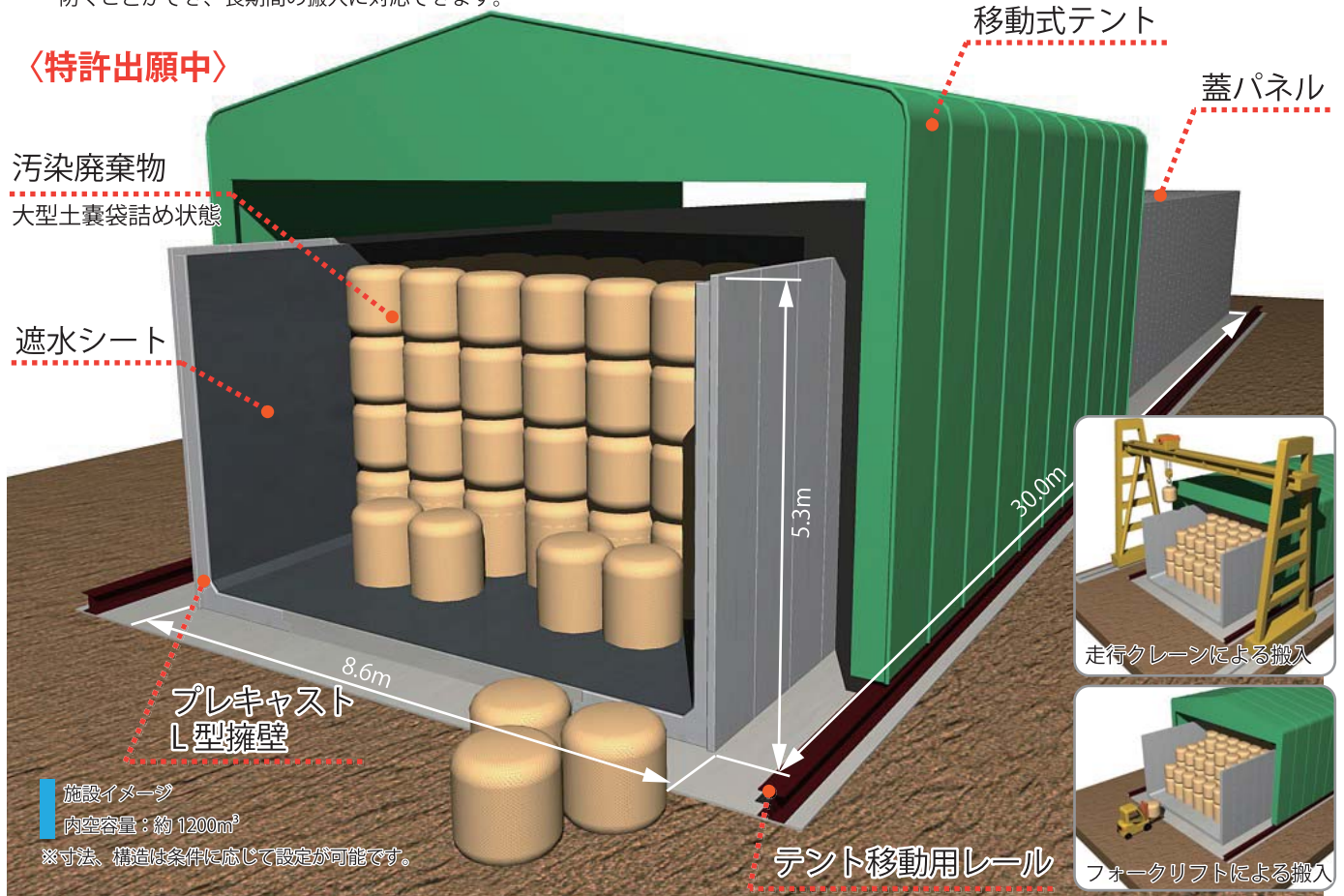


タイプ I-2 U型保管施設 - 長期搬入タイプ

汎用L型擁壁を使用してローコストで素早い施設構築が可能です。

- L型のプレキャストコンクリート擁壁とコンクリート蓋パネルを組み合わせて、必要な容量の施設を短期間で構築できます。
- 内部には廃棄物最終処分場で使用されている遮水シートを敷設し、高い遮水性能を持たせて、雨水の浸入や、廃棄物から出る浸出水の流出を排除します。
- 搬入部分は移動式のテントで覆い、埋立て完了部には蓋パネルを設置し、テントを移動していきます。これにより搬入時の雨水の浸入を防ぐことができ、長期間の搬入に対応できます。

〈特許出願中〉



施設イメージ

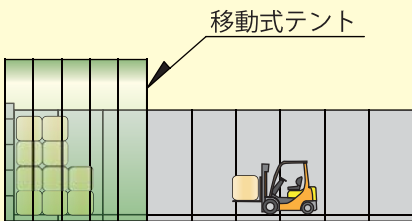
内空容量：約 1200m³

※寸法、構造は条件に応じて設定が可能です。

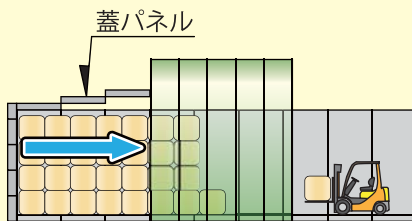
施設概要

プレキャストコンクリート製のL型擁壁と蓋パネル及び遮水シートで、外部環境と汚染廃棄物を遮断する構造です。また、作業部を移動式テントで覆う事により、雨等による汚染廃棄物の流出を防ぎます。

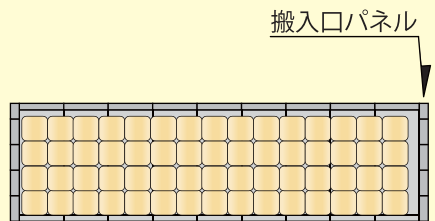
■ 搬入開始



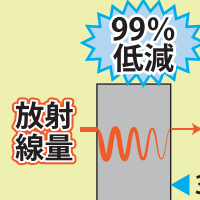
■ テント移動



■ 設置完了



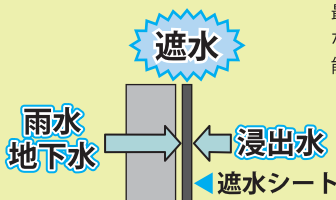
コンクリートによる低減効果



部材厚 30cm のコンクリートにより、放射線量を約 99% 低減します。

※「市町村による除染実施ガイドライン」(H23.8.26 原子力災害対策本部) の値から試算しています。
※現地の空間線量率以下には低減しません。

遮水シートによる遮水効果



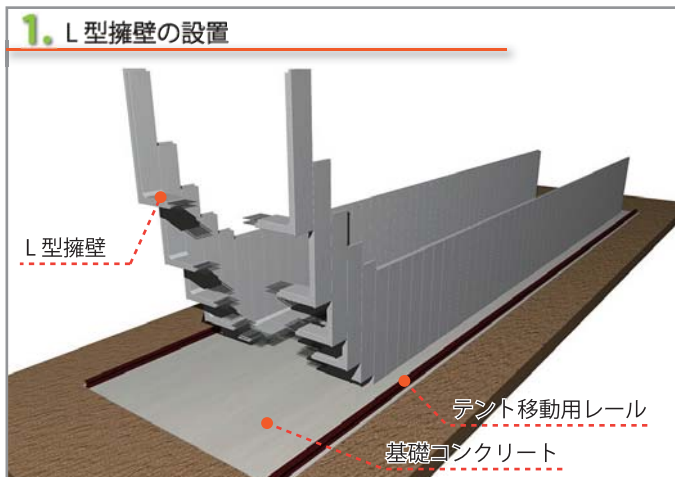
最終処分場で使用されている丈夫な遮水シートにより、高い遮水性能を確保します。

シート厚さ：1.5 mm 以上
透水係数：1×10⁻⁹ cm/sec 相当以上

※形状・仕様は変更になる場合があります。

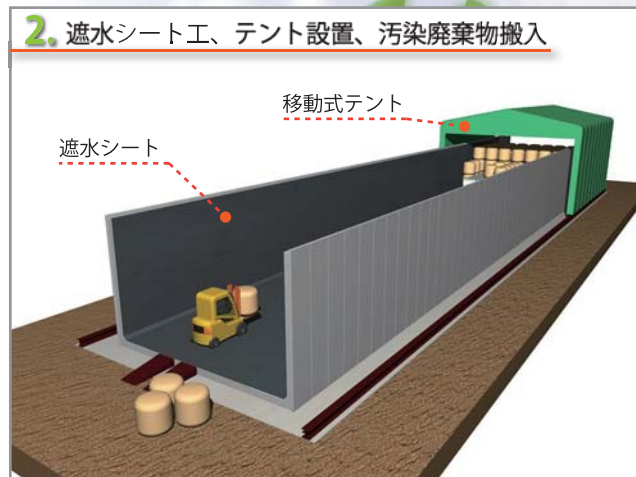
設置方法

1. L型擁壁の設置



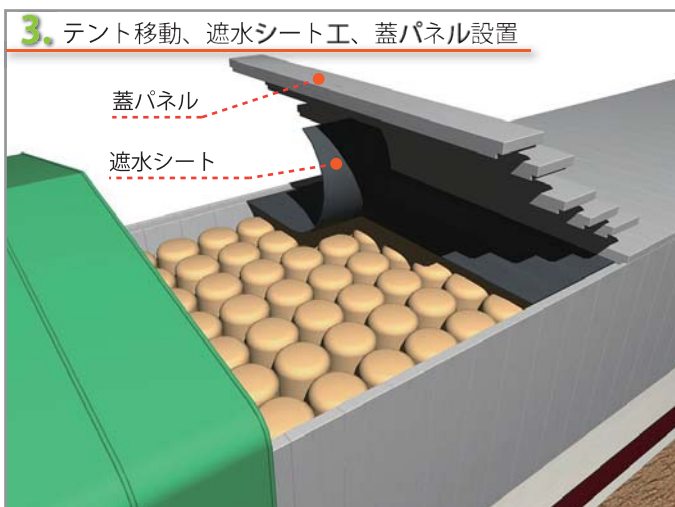
基礎コンクリート打設後、テント移動用レールを設置します。その後、プレキャストL型擁壁を設置します。

2. 遮水シート工、テント設置、汚染廃棄物搬入



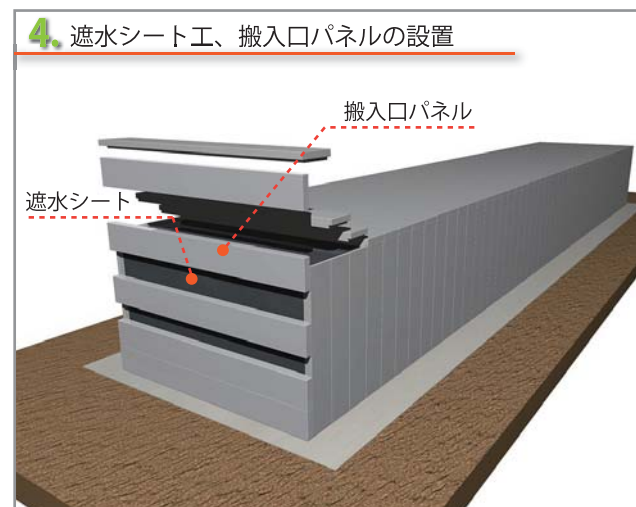
L型擁壁内面に遮水シートを設置し、作業部保護用の移動式テントを設置します。その後、大型土嚢袋等に封入した汚染廃棄物を施設内部に搬入します。

3. テント移動、遮水シート工、蓋パネル設置



汚染廃棄物の搬入状況に合わせてテントを移動します。移動後の汚染廃棄物上部に遮水シートを施工した後、蓋パネルを設置します。

4. 遮水シート工、搬入口パネルの設置

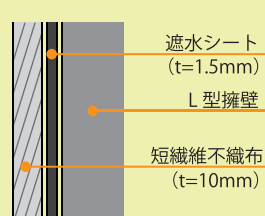


汚染廃棄物の搬入終了後、搬入口を遮水シート及びコンクリート製のパネル部材で完全にふさぎ、設置完了です。

遮水方法

遮水シート構造

側壁部



搬入作業や搬入する廃棄物等による遮水シートの損傷を抑制するため、短繊維不織布を設置します。

遮水シートの取付例



タイプ I-3 U型保管施設 - 多重遮蔽タイプ

汎用L型擁壁を使用してローコストで素早い施設構築が可能です。

- L型のプレキャストコンクリート擁壁とコンクリート蓋パネルを組み合わせて、必要な容量の施設を短期間で構築できます。
- 内部には廃棄物最終処分場で使用されている遮水シートを敷設し、高い遮水性能を持たせて、雨水の浸入や、廃棄物から出る浸出水の流出を排除します。
- 搬入部分は移動式のテントで覆い、埋立て完了部には蓋パネルを設置し、テントを移動していきます。これにより搬入時の雨水の浸入を防ぐことができ、長期間の搬入に対応できます。
- 高濃度の汚染物質をタイプIIIの保管ボックスに格納して内部に設置し、多重の遮蔽構造とすることで、より安全な仮置きが行えます。

〈特許出願中〉

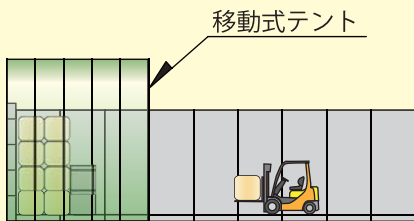


施設イメージ
 内空容量：約 1200m³
 ※寸法、構造は条件に応じて設定が可能です。

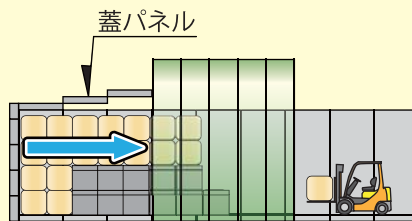
施設概要

プレキャストコンクリート製のL型擁壁と蓋パネル及び遮水シートで、外部環境と汚染廃棄物を遮断する構造です。また、作業部を移動式テントで覆う事で、雨等による汚染廃棄物の流出を防ぎます。

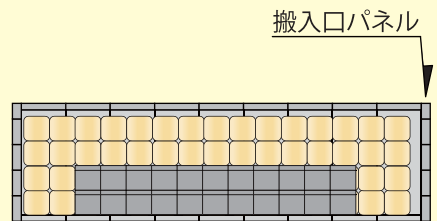
■ 搬入開始



■ テント移動



■ 設置完了



コンクリートによる低減効果

99% 低減

放射線量

30cm 厚

部材厚 30cm のコンクリートにより、放射線量を約 99% 低減します。

※「市町村による除染実施ガイドライン」(H23.8.26 原子力災害対策本部) の値から試算しています。

※現地の空間線量率以下には低減しません。

遮水シートによる遮水効果

遮水

雨水 地下水 浸出水 遮水シート

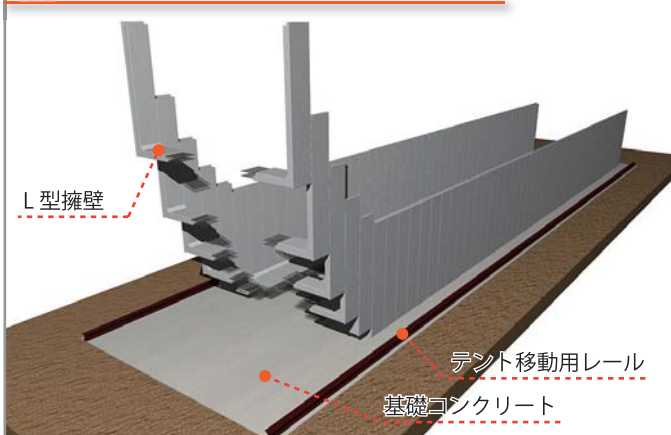
最終処分場で使用されている丈夫な遮水シートにより、高い遮水性能を確保します。

シート厚さ：1.5 mm 以上
 透水係数：1×10⁻⁹ cm/sec 相当以上

※形状・仕様は変更になる場合があります。

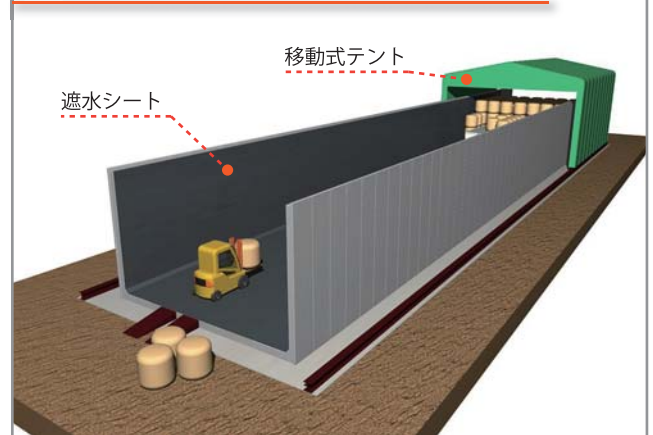
設置方法

1. L型擁壁の設置



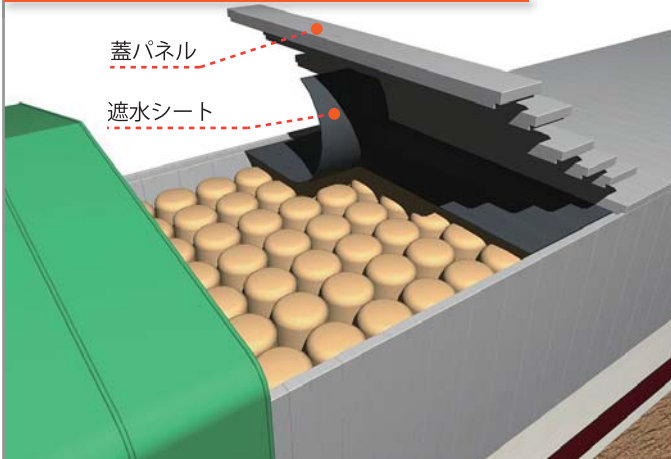
基礎コンクリート打設後、テント移動用レールを設置します。その後、プレキャストL型擁壁を設置します。

2. 遮水シート工、テント設置、汚染廃棄物搬入



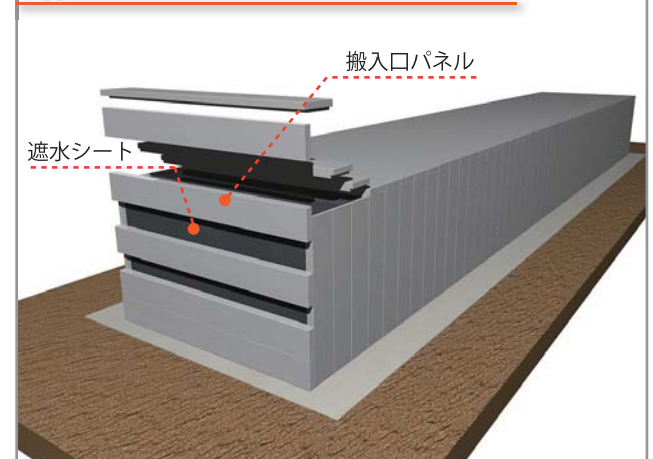
L型擁壁内面に遮水シートを設置し、作業部保護用の移動式テントを設置します。その後、大型土嚢袋等に封入した汚染廃棄物を施設内部に搬入します。

3. テント移動、遮水シート工、蓋パネル設置



汚染廃棄物の搬入状況に合わせてテントを移動します。移動後の汚染廃棄物上部に遮水シートを施工した後、蓋パネルを設置します。

4. 遮水シート工、搬入口パネルの設置

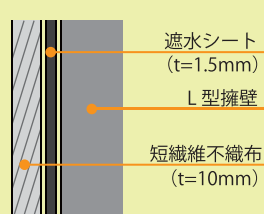


汚染廃棄物の搬入終了後、搬入口を遮水シート及びコンクリート製のパネル部材で完全にふさぎ、設置完了です。

遮水方法

遮水シート構造

側壁部



搬入作業や搬入する廃棄物等による遮水シートの損傷を抑制するため、短繊維不織布を設置します。

遮水シートの取付例

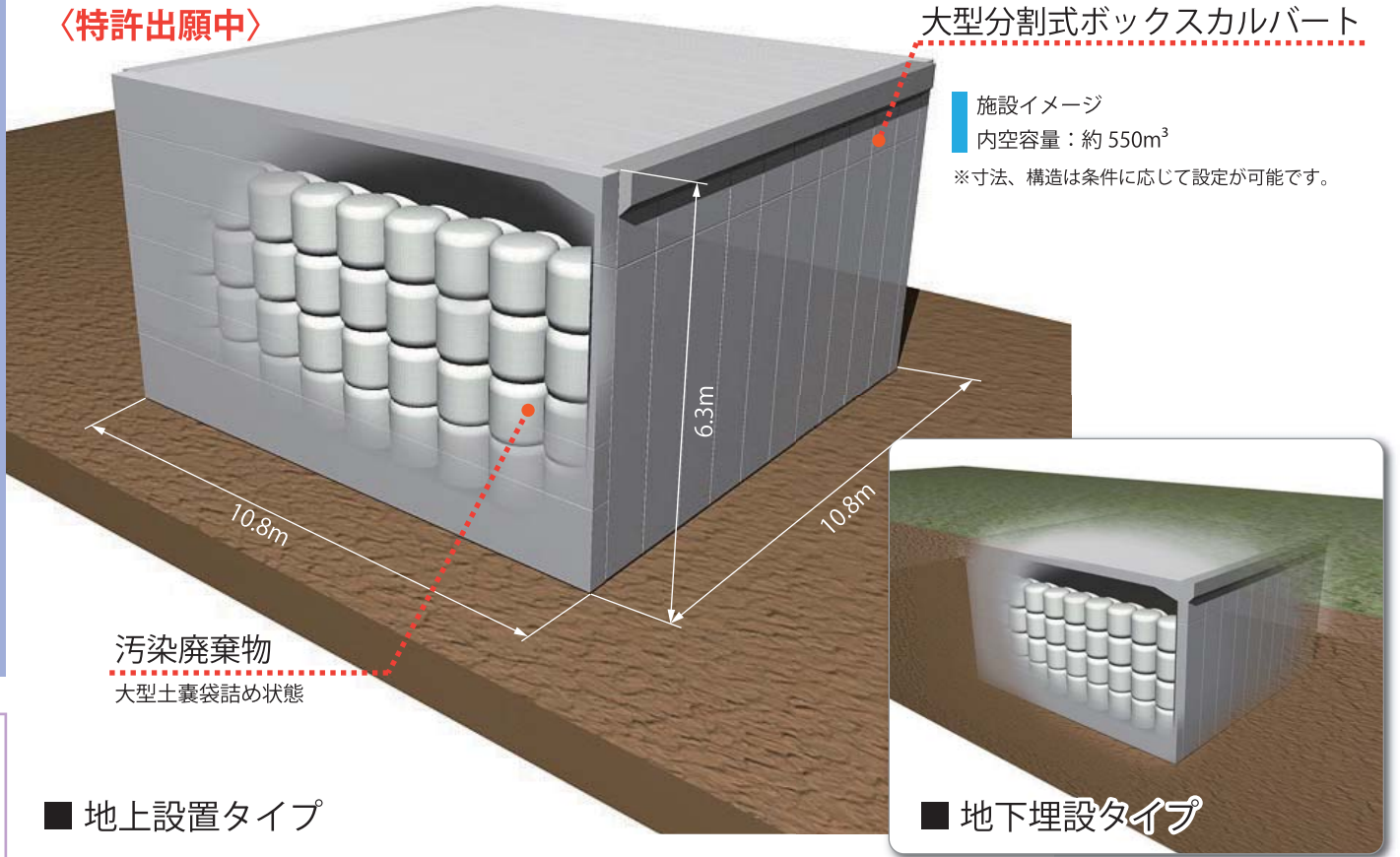


タイプⅡ ボックス型保管施設

線量の高い汚染廃棄物を安全に保管します。

- 高い放射線量の廃棄物も安全に保管できる、厚みをもったコンクリートピットです。
- 強度のあるボックスカルバート用のプレキャストコンクリート製品を使用するため、上部の有効利用ができます。
- 内部には廃棄物最終処分場で使用されている遮水シートを敷設することで、高い遮水性能を持たせて、雨水、地下水の浸入や、廃棄物から出る浸出水の流出を排除します。
- 地下埋設にも対応できます。

〈特許出願中〉



汚染廃棄物
大型土嚢袋詰め状態

■ 地上設置タイプ

■ 地下埋設タイプ

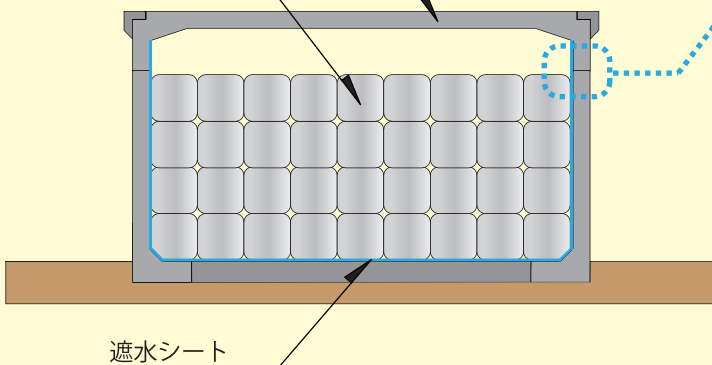
施設概要

短期間で設置できるように、プレキャストコンクリート製の大型分割式ボックスカルバートを使用し、内側に丈夫なポリエチレン遮水シートを張って外部環境と遮断する構造です。

■ 設置断面図

大型分割式ボックスカルバート

汚染廃棄物



遮水シート

コンクリートによる低減効果

99.9% 低減

放射線量

40cm 厚

部材厚 40cm のコンクリートにより、放射線量を約 99.9% 低減します。

※「市町村による除染実施ガイドライン」(H23.8.26 原子力災害対策本部) の値から試算しています。
※現地空間線量率以下には低減しません。

遮水シートによる遮水効果

遮水

雨水
地下水

浸出水

遮水シート

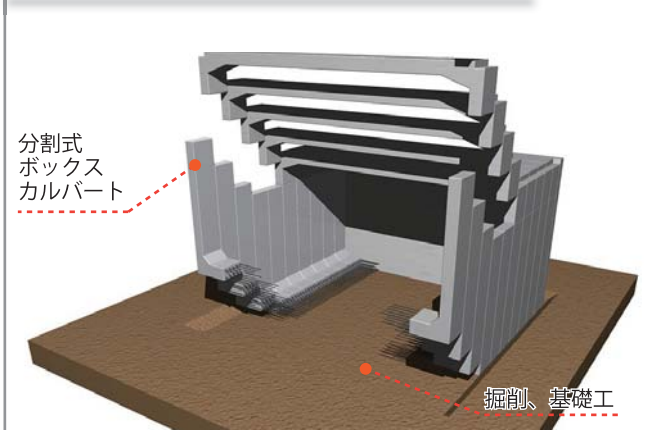
最終処分場で使用されている丈夫な遮水シートにより、高い遮水性能を確保します。

シート厚さ：1.5 mm 以上
透水係数： 1×10^{-9} cm/sec 相当以上

※形状・仕様は変更になる場合があります。

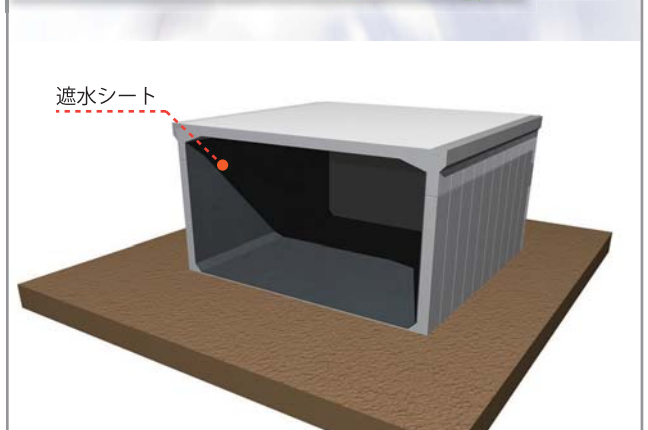
設置方法

1. 基礎工、分割式ボックスカルバートの設置



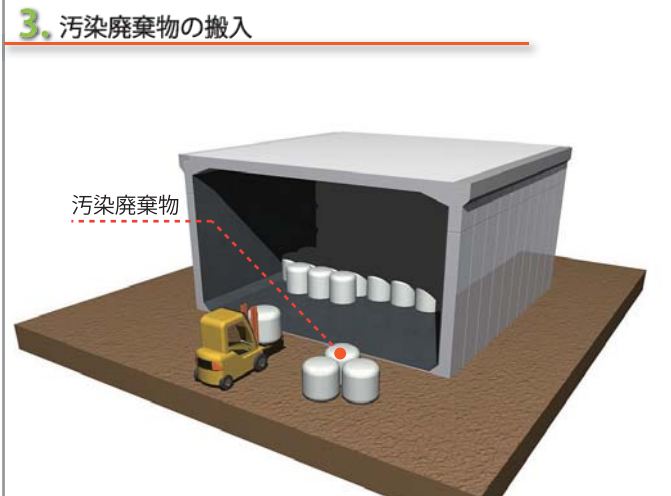
基礎工及び製品の設置を行います。

2. 遮水シート工



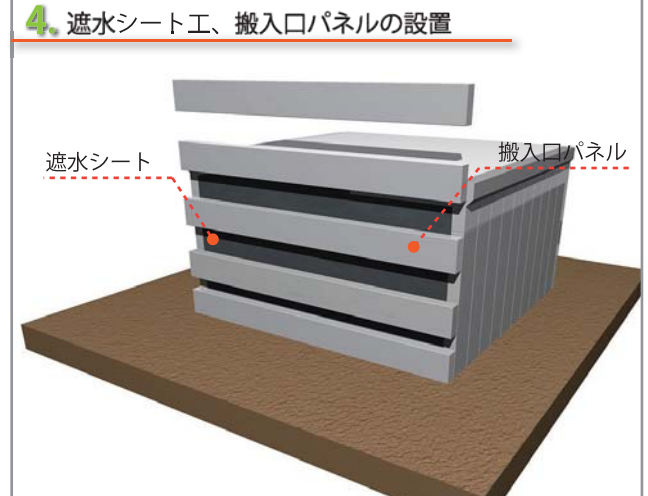
製品内面に遮水シートを設置します。

3. 汚染廃棄物の搬入



大型土嚢等に詰めた汚染廃棄物をフォークリフト等で施設内に搬入します。

4. 遮水シート工、搬入口パネルの設置

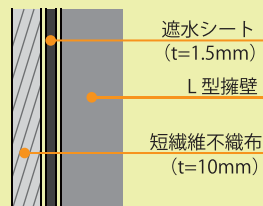


汚染汚泥の搬入終了後、搬入口を遮水シート及びコンクリート製のパネル部材で完全にふさぎ、設置完了です。

遮水方法

遮水シート構造

側壁部



搬入作業や搬入する廃棄物等による遮水シートの損傷を抑制するため、短繊維不織布を設置します。

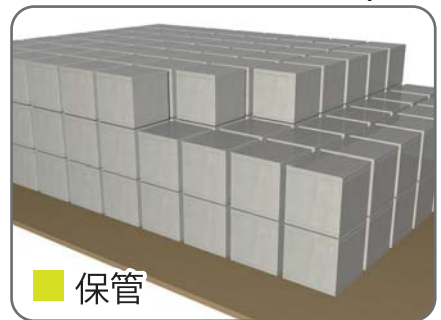
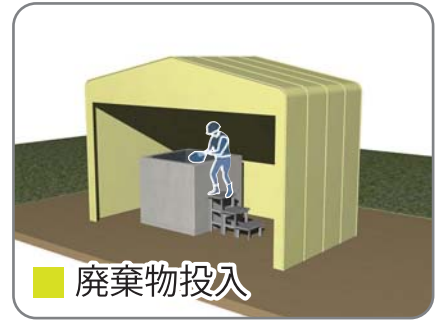
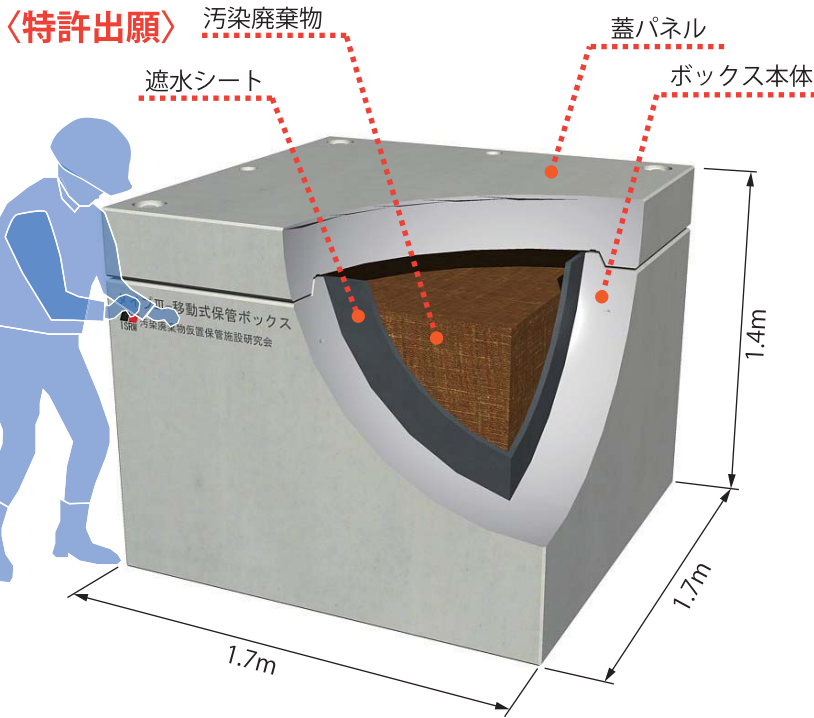
遮水シートの取付例



タイプⅢ 移動式保管ボックス

コミュニティ単位など、小区画での仮置き保管が可能です。

- 宅地の表土や除草などを、コミュニティ単位で仮置きできます。
- 設置面積が 1.7m 四方とコンパクトなため、狭い場所でも設置可能です。
- 廃棄物の放射線量に応じて、コンクリート厚さの異なる 2つのサイズを揃えました。
- 蓋パネルを開けることなく運搬可能な構造です。
- トラックに積載可能なサイズなので、収集・運搬が可能です。



大型土嚢袋も保管可能

既に仮置きに利用している大型土嚢袋がそのまま投入可能なサイズです。

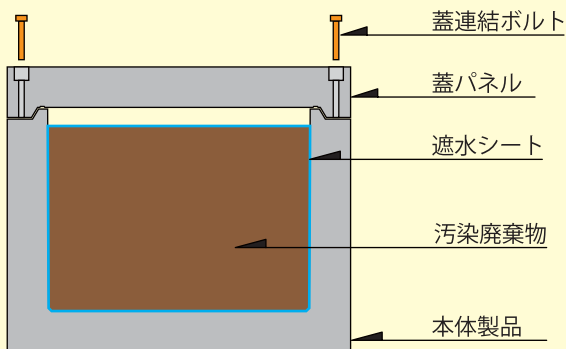


保管後の運搬も可能

保管後は本体と蓋を一体化するため、蓋を開けることなく運搬可能です。

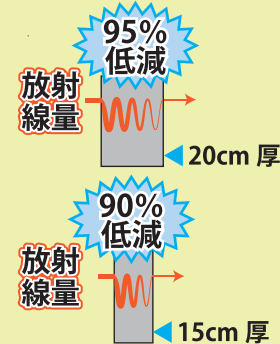
施設概要

プレキャストコンクリート製のボックスで、コンクリートと内側に設置する遮水シートで、外部環境と汚染廃棄物を遮断する構造です。ボックスのサイズや壁厚は、要求される放射線の低減量や、移動・運搬設備等により決定します。



※形状・仕様は変更になる場合があります。

コンクリートによる低減効果

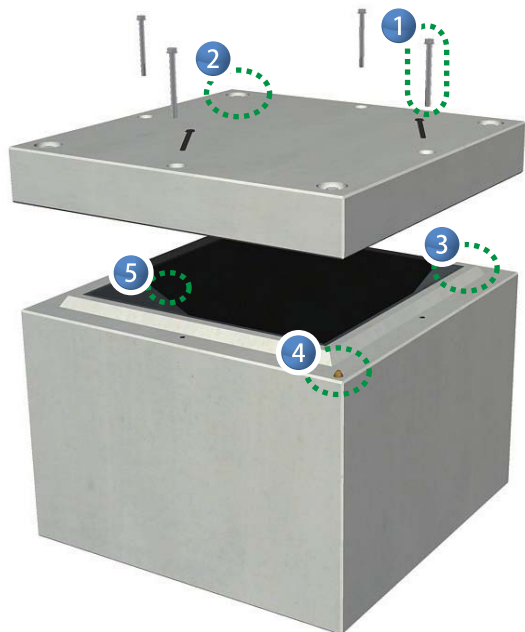


部材厚 20cm のコンクリートにより、放射線量を約 95%、部材厚 15cm のコンクリートにより、放射線量を約 90% 低減します。

※「市町村による除染実施ガイドライン」(H23.8.26 原子力災害対策本部) の値から試算しています。

※現地の空間線量率以下には低減しません。

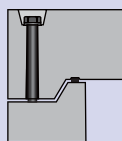
各部詳細



① 固定ボルト

素早く確実に蓋を固定

4本の専用固定ボルトで、素早く確実に蓋パネルを固定します。



② 吊り金具

ワンタッチで取付可能

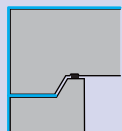
ワンタッチで取付可能な吊り金具で、効率よく作業ができます。



③ 蓋ジョイント構造

高い遮へい性と止水性を確保

本体側のジョイントを凸構造として、放射線の低減効果を高めます。また、ボックス内部への雨水の侵入も最小限に抑えます。



④ ガイドピン

作業時間を短縮

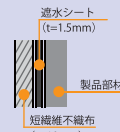
蓋パネルのを短時間で正確に設置します。



⑤ 遮水シート

高い遮水性を確保

丈夫な遮水シートで、雨水等の流入や、浸出水の流出を抑制します。



※仕様によっては設置しない場合もあります。

製品規格

(単位: mm)

内空サイズ			外形サイズ(蓋込)			部材厚	参考質量(蓋込) (kg)	内部容量 (m ³)	放射線量の 低減率
幅	長さ	高さ	幅	長さ	高さ				
1,400	1,400	1,100	1,700	1,700	1,400	150	4,790	2.1	90%
1,300	1,300	1,000	1,700	1,700	1,400	200	5,920	1.7	95%

※放射線量の低減率は「市町村による除染実施ガイドライン」(H23.8.26 原子力災害対策本部) の値から試算しています。
 ※現地の空間線量率以下には低減しません。
 ※上記以外の規格についてはお問い合わせ下さい。

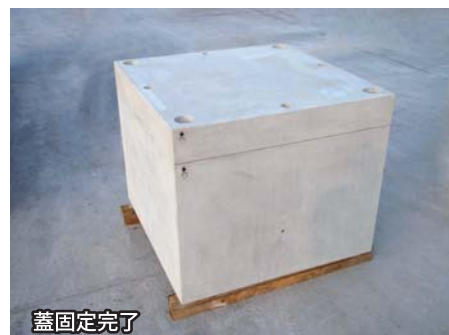
製品写真



ボックス本体と蓋パネル



汚染廃棄物の収納状況



蓋固定完了

施工事例



福島県



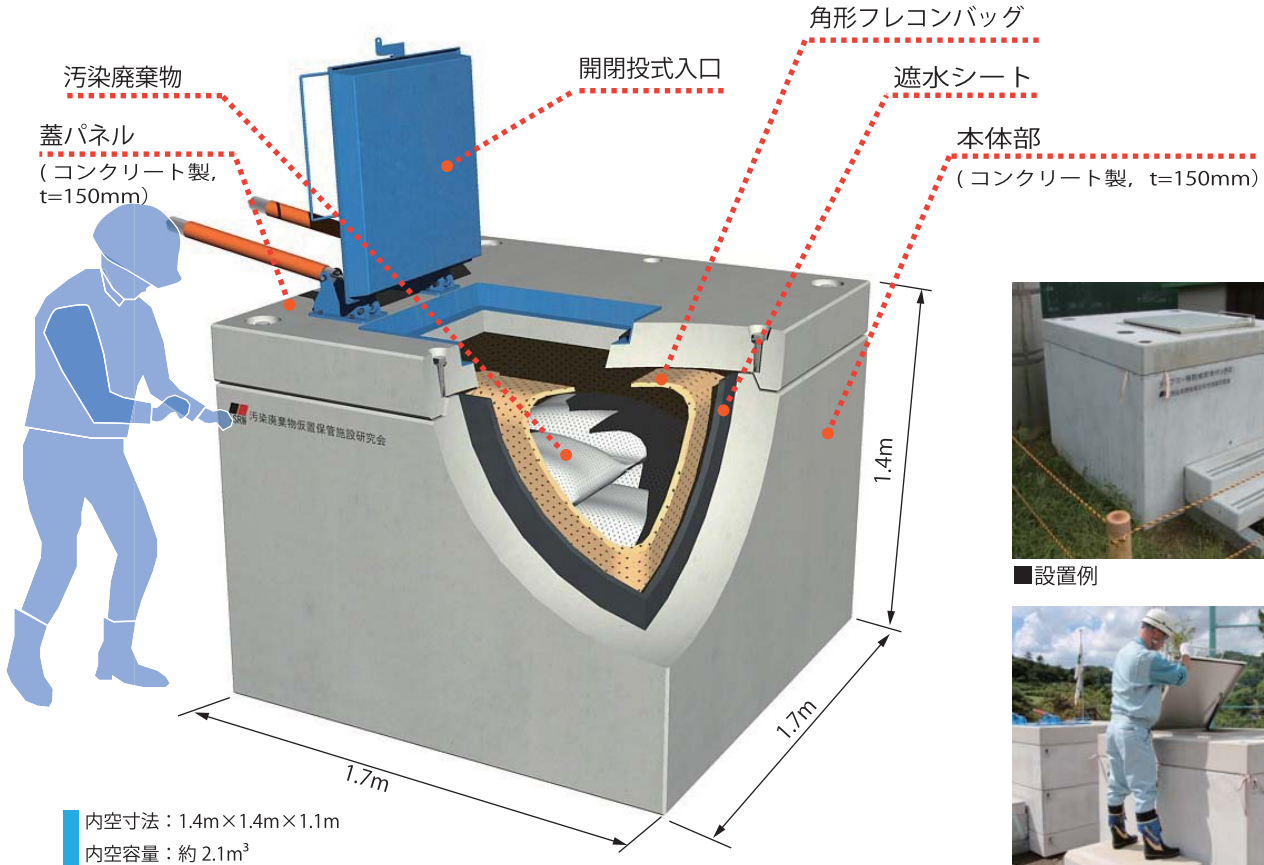
福島県



岩手県

回収ボックス

蓋パネルに人力で開閉可能な投入口を設置した、汚染廃棄物を回収・集積するための保管容器です。内部に設置した「角形フレコンバッグ」により、回収した汚染廃棄物のみの回収が可能です。



■設置例



■回収イメージ

内空寸法：1.4m×1.4m×1.1m
内空容量：約2.1m³

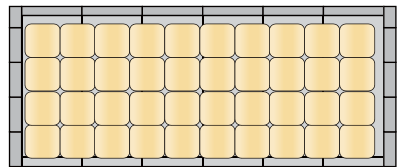
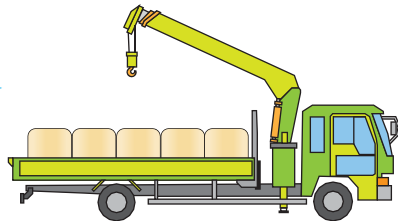
コミュニティ単位回収の提案

本体内部に設置した角形の角形フレコンバッグに廃棄物を集め、満杯になった時点で内部のフレコンバッグを回収します。

■コミュニティ単位での廃棄物回収

■トラック等によるフレコンバッグ回収

■保管施設等への集積保管



1. 一定のコミュニティ単位（地区単位、町内単位等）に汚染廃棄物回収用の移動式保管ボックスを設置します。
2. コミュニティ内及び個人単位で汚染廃棄物を回収します。
3. 回収ボックスが一杯になった時点でトラック等により中のフレコンバッグのみ取り出し、回収します。
4. 各コミュニティから収集されたフレコンバッグは、仮置き用の保管施設等に集積保管します。

分割式回収ボックス

ユニック等の小型建機によって運搬・設置が可能な分割式の回収ボックスです。大型の建機が進出出来ない場所等で特に有効です。

上面投入タイプ

開閉式投入口

角形フレコンバッグ

遮水シート

蓋パネル
(コンクリート製、
t=150mm)

分割式本体部
(コンクリート製、
t=150mm)

底板部材
(コンクリート製、
t=150mm)

参考質量：982kg

参考質量：1,180kg

参考質量：1,250kg

汚染廃棄物

1.7m

1.7m

1.4m

内空寸法：1.4m×1.4m×1.1m
内空容量：約 2.1m³

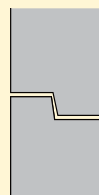


■回収イメージ



■組み立て状況

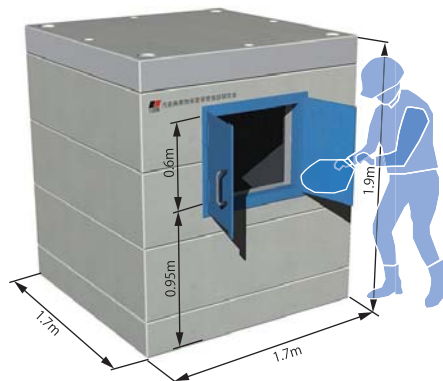
カギ状目地を採用



放射線の遮へい効果を確保するために、各部分材間の目地はすべてカギ状目地を採用しています。

開発中

側面投入タイプ



内空寸法：1.4m×1.4m×1.6m
内空容量：約 3.1m³

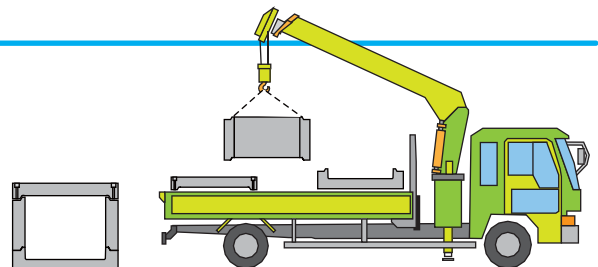
上面投入タイプと同様のユニットで、構築し、側面に開口部を設けるタイプです。

側面に開口部を設けることで、上面に上る事なく、汚染廃棄物の投入を比較的容易に行う事が可能です。

※イメージです。実際とは異なる場合があります。

分割式回収ボックスの特長

分割式にする事で各部材の重量を抑え、ユニック等の小型建機による運搬・設置を可能にしました。そのため、設置条件に左右されにくく、設置に伴う費用も軽減する事が出来ます。



仮置保管施設 各部詳細仕様・利用方法

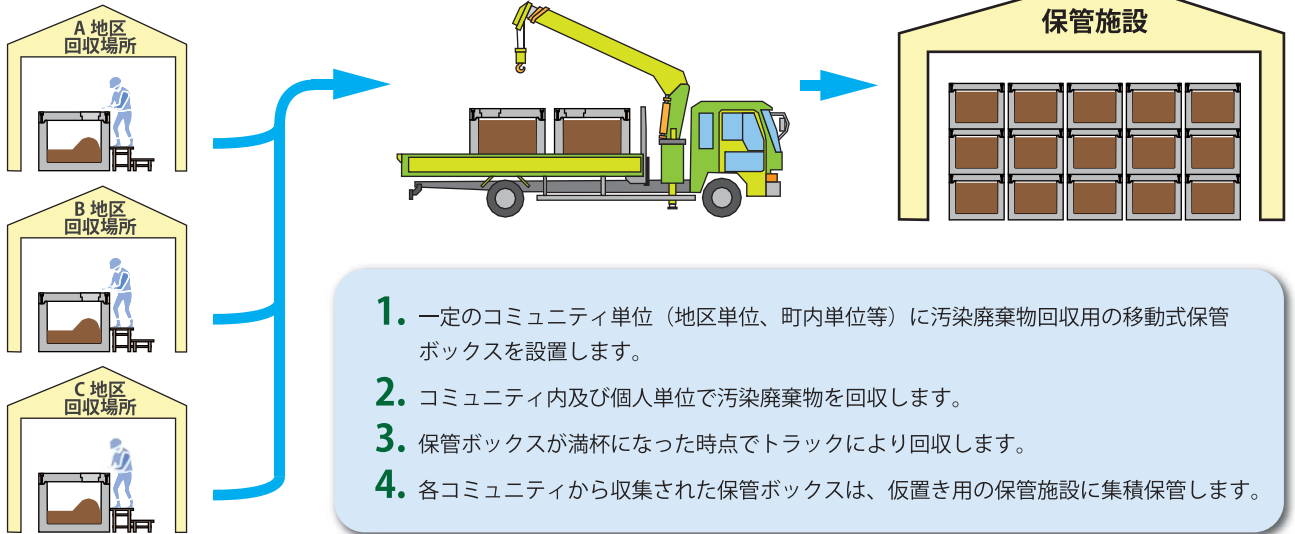
コミュニティ単位回収の提案

住宅敷地内など、個人、町内単位で回収される汚染廃棄物を安全に回収・運搬・集積します。

■コミュニティ単位での廃棄物回収

■トラックによる回収

■仮置き施設への集積保管



1. 一定のコミュニティ単位（地区単位、町内単位等）に汚染廃棄物回収用の移動式保管ボックスを設置します。
2. コミュニティ内及び個人単位で汚染廃棄物を回収します。
3. 保管ボックスが満杯になった時点でトラックにより回収します。
4. 各コミュニティから収集された保管ボックスは、仮置き用の保管施設に集積保管します。

目地処理例

規模や用途に合わせて最適な目地構造を選択します。

保管施設を構成する各部材間の目地は、水平目地とカギ状目地があります。
汎用製品を用いた簡易的な施設では、水平目地が標準です。
専用製品ではすべての目地でカギ状目地を採用し、放射線の遮へい効果を最大限に発揮します。

水平目地



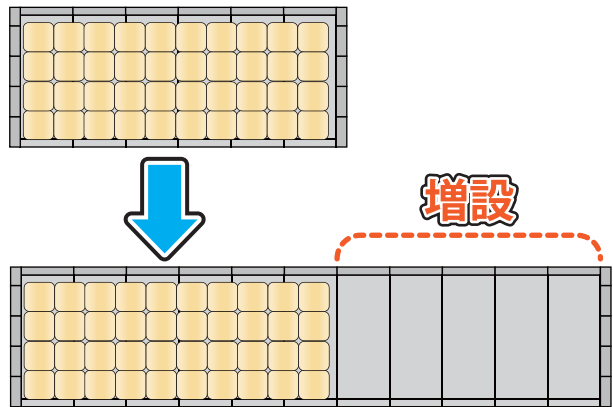
カギ状目地



施設増設例

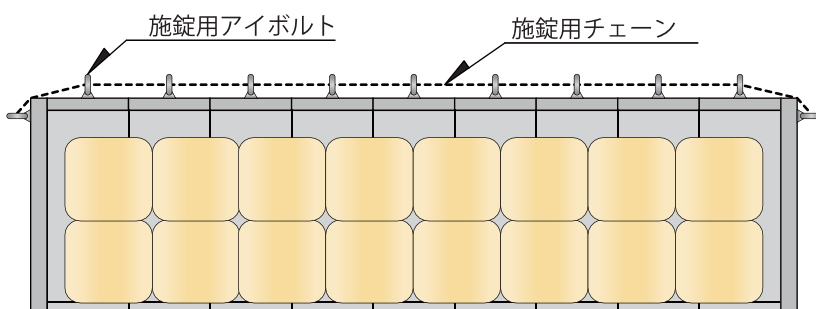
プレキャスト製品のため、施設の増設にも柔軟に対応します。

プレキャスト製品により施設を構築しているため、施設の増設ができます。これにより廃棄物の発生量に応じて、柔軟に対応できます。



施錠方法例

保管施設全体を施錠することで、安全に保管します。



1. 保管施設蓋パネルに取り付けられたインサート又はアンカーにアイボルトを取り付けます。
2. 取り付けたアイボルトにチェーンやワイヤー等を通します。
3. 保管施設側面や地面に設けたアンカーにチェーン等を連結して施錠します。

仮置保管施設 実績表

(平成 24 年 9 月末現在)

大型仮置保管施設

実績 1 タイプ I U 型保管施設

福島県



- 【施工年月】平成 23 年 8 月
- 【施工地】福島県
- 【工事名】教育施設
放射性物質含有土壌保管施設実験工事
- 【発注者】-

【施設寸法】 内空幅 4.0m× 内空高 1.37m× 延長 18.0m
【内空容量】 98.64m³
【部材厚】 0.08m
【特記】 タイプ I 地下埋設型 上部構造：盛り土+プレキャスト版（落し蓋式）

実績 2 タイプ III 移動式保管ボックス

福島県



- 【施工年月】平成 23 年 12 月
- 【施工地】福島県西白河郡中島村
- 【工事名】(仮称) 除染廃棄物の保管
(原山行政区)
- 【発注者】福島県西白河郡中島村

【施設寸法】 内空幅 1.3m×1.3m× 内空高 1.0m ×2 基
【内空容量】 1.69m³ ×2 基
【部材厚】 0.20m

実績 3 タイプ III 移動式保管ボックス

福島県



- 【施工年月】平成 23 年 12 月
- 【施工地】福島県福島市
- 【工事名】(仮称) 除染廃棄物の保管 (町内会)
- 【発注者】民間

【施設寸法】 内空幅 1.3m×1.3m× 内空高 1.0m ×1 基
【内空容量】 1.69m³ ×1 基
【部材厚】 0.20m

実績 4 タイプ III 移動式保管ボックス

福島県



- 【施工年月】平成 24 年 2 月
- 【施工地】福島県本宮市
- 【工事名】(仮称) 除染廃棄物の保管 (民間企業)
- 【発注者】民間

【施設寸法】 内空幅 1.3m×1.3m× 内空高 1.0m ×1 基
【内空容量】 1.69m³ ×1 基
【部材厚】 0.20m

保管容器

実績表

実績 5 タイプ I U型保管施設

新潟県



- 【施工年月】 平成 24 年 2 月
- 【施 工 地】 新潟県新潟市
- 【工 事 名】 浄水発生土保管庫設置工事
(満願寺浄水場)
- 【発 注 者】 新潟市水道局

- 【施設寸法】 内空幅 7.95m × 内空高 1.85m × 延長 5.55m
- 【内空容量】 81.63m³
- 【部 材 厚】 0.10m
- 【特 記】 タイプ I 地上設置型 上部構造：盛り土 + プレキャスト版（落し蓋式）

実績 6 タイプ I U型保管施設

新潟県



※全体イメージ



- 【施工年月】 平成 24 年 3 月
- 【施 工 地】 新潟県新潟市
- 【工 事 名】 浄水発生土保管庫設置工事
(阿賀野川浄水場)
- 【発 注 者】 新潟市水道局

- 【施設寸法】 内空幅 11.92m × 内空高 1.85m × 延長 29.19m
- 【内空容量】 643.70m³
- 【部 材 厚】 0.10m
- 【特 記】 タイプ I 地上設置型 上部構造：盛り土 + プレキャスト版（落し蓋式）

実績 7 タイプ I-3 U型保管施設 - 多重遮蔽タイプ

福島県



- 【施工年月】 平成 24 年 3 月
- 【施 工 地】 福島県郡山市
- 【工 事 名】 流域下水道維持管理
(汚泥放射能対策) 工事
- 【発 注 者】 福島県 県中流域下水道建設事務所

- 【施設寸法】 内空幅 8.35m × 内空高 4.90~5.08m × 延長 23.70m × 2 連
- 【内空容量】 1975m³
- 【部 材 厚】 0.30m
- 【特 記】 U型保管施設内にタイプ III (移動式保管ボックス) を配置する多重遮蔽構造。移動式テントによる随時搬入型。

実績 8 タイプ III 移動式保管ボックス

岩手県



- 【施工年月】 平成 24 年 3 月
- 【施 工 地】 岩手県釜石市
- 【工 事 名】 釜石市災害廃棄物処理事業
- 【発 注 者】 大成 JV

- 【施設寸法】 内空幅 1.4m × 1.4m × 内空高 1.1m × 2 基
内空幅 1.3m × 1.3m × 内空高 1.0m × 2 基
- 【内空容量】 2.10m³ × 2 基 1.70m³ × 2 基
- 【部 材 厚】 0.15m, 0.20m

実績 9**タイプ I U型保管施設**

福島県



- 【施工年月】 平成 24 年 4 月
- 【施 工 地】 福島県福島市
- 【工 事 名】 大波地区汚染土壌仮置場L型擁壁等設置工事（1期工事）
- 【発 注 者】 福島県福島市

- 【施設寸法】 内空幅 38.8m× 内空高 4.8m× 延長 37.4m（1期工事）
- 【内空容量】 6965m³
- 【部 材 厚】 0.16m
- 【特 記】 タイプ I 地上設置型

実績 10**タイプ I U型保管施設**

福島県



- 【施工年月】 平成 24 年 7 月
- 【施 工 地】 福島県郡山市
- 【工 事 名】 稲わら保管施設 1
- 【発 注 者】 福島県郡山市

- 【施設寸法】 内空幅 6.0m× 内空高 2.5m× 延長 36.0m
- 【内空容量】 540m³
- 【部 材 厚】 0.12m

実績 11**タイプ I U型保管施設**

福島県



- 【施工年月】 平成 24 年 8 月
- 【施 工 地】 福島県郡山市
- 【工 事 名】 稲わら保管施設 2
- 【発 注 者】 福島県郡山市

- 【施設寸法】 内空幅 4.0m× 内空高 2.0m× 延長 60.0m
- 【内空容量】 480m³
- 【部 材 厚】 0.10m

実績 12**タイプ III 回収ボックス**

福島県



- 【施工年月】 平成 24 年 9 月
- 【施 工 地】 福島県郡山市
- 【工 事 名】 (仮称) 郡山市立小・中学校
汚染廃棄物仮置施設
- 【発 注 者】 福島県郡山市

- 【施設寸法】 内空幅 1.4m×1.4m× 内空高 1.1m×15 基
- 【内空容量】 2.1m³×15 基
- 【部 材 厚】 0.15m



▼お問い合わせ

汚染廃棄物仮置保管施設研究会事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町 2-15 昭和コンクリート工業（株）東北支店内

TEL 022-227-2100 FAX 022-225-1202

ホームページ <http://www.isrw.biz/>

▼会員会社（五十音順）

正会員

(株)赤城商会	(株)アドヴァンス	(株)大越工業所	共和コンクリート工業(株)
(株)桑原コンクリート工業	シーアイ化成(株)	昭和コンクリート工業(株)	大成建設(株)
高田産商(株)	千葉窯業(株)	東栄コンクリート工業(株)	前田製管(株)
丸栄コンクリート工業(株)	万年コンクリート工業(株)	三ツ星ベルト(株)	八溝マテリアル(株)
(株)吉田セメント工業			

賛助会員

(株)イワキ	(株)ケーエムエフ	福島県建設業協同組合	(株)北斗型枠製作所
--------	-----------	------------	------------